

## 宗教と戦争を考える〈3〉

# キリスト教はなぜ戦争について 容認するようになったのか？

講師 土井 健司（関西学院大学神学部教授）

歴史を学ぶことは、いつも「今」を考えることになる、と言われます。絶対的平和を説いたイエスのつくった教会、キリスト教が歴史のなかで戦争について容認するようになったのは、おおよそ四世紀頃のことです。3世紀はじめのテルトゥリアヌスなど教父たちは戦争に反対し、平和を求めましたが、しかし313年を境に容認するようになっていくのです。さらにはアウグスティヌスになると「正戦論」も展開していきます。このような歴史的経緯を辿りつつ、キリスト教の歴史のなかで展開していった戦争論を共に学び、歴史の岐路に立つ者として、今日の戦争と平和について考えてみたいと思います。

日時 2017年10月7日（土）13:30～17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300 円、学生 1,000 円（コーヒー込み）

\*要申込み\* 10月4日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込み下さい。



土井 健司 どいけんじ

1962年、京都に生まれ育つ。関西学院大学神学部教授（歴史神学）、日本基督教学会専務理事。京都大学博士（文学）、関西学院大学博士（神学）。

著書 『救貧看護とフィランソロピー—古代キリスト教におけるフィランソロピー論の生成』（創文社）、『愛と意志と生成の神』（教文館）、『古代キリスト教探訪』（新教出版社）、『キリスト教を問いなおす』（ちくま新書）、『キリスト教は戦争好きか』（朝日選書）など多数。

- ◎スケジュール◎ 13:30～15:00 挨拶・講師紹介  
 講演・発題  
 15:00～15:30 コーヒーブレイク  
 15:30～17:20 質疑とはなしあい  
 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



2017年度 修学院フォーラム これからの予定

- 「社会」 第2回 11月11日(土)「宗教と戦争を考える 4」  
 「内村鑑三の戦争観」  
 講師：岩野 祐介 (関西学院大学神学部教授)
- 第3回 12月予定  
 「若者からの声」 (仮) 講師：交渉中
- 第4回 2018年1月7日(日)～8日(月・祝)〈エネルギーを考える第6回〉  
 「フクシマの問いかけにどう応えるか」  
 倫理的視点から 講師：島菌 進 (上智大学神学部教授・グリーンケア研究所所長)  
 技術的視点から 講師：吉岡 斉 (九州大学教授、福島原発事故政府事故調委員)
- 第5回 2018年2月17日(土)「キリスト教と政治的課題」(仮)  
 講師：佐藤 優 (作家・元外務省主任分析官)
- 「いのち」 2018年3月4日(日)  
 「いのちとさんび」(仮)  
 演奏とお話：菅野 万利子 (ピアニスト)
- 「福祉」 第2回 2018年3月予定 共催：京都YWCA  
 「子どもの虐待を考える」(仮) 講師：交渉中



【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
 関西セミナーハウス活動センター  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
<http://www.academy-kansai.org>  
 電話 075-711-2117  
 FAX 075-701-5256  
 電子メール office@academy-kansai.org  
 所長 榎本 栄次  
 担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



\* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

—————2017年度 修学院フォーラム「社会」第1回 参加申込書—————

(フリガナ)			
名前	所属		
住所〒			
電話 ( )	—	FAX ( )	— 携帯 ( )
電子メール:	@		
通信欄:			